

指定校番号	31029	学級活動	○	生徒会活動	学校行事	別紙様式2
-------	-------	------	---	-------	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中緑ヶ丘中学校	校長	谷川清二	生徒指導主事	河本春彦
-----	--------------	----	------	--------	------

取組事例名					
『地域教育と学校支援の在り方』					
取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
「対人関係能力の育成」	3	「地域教育での繋がり」	1	「未然防止と早期対応」	2
取組のねらい					
1 小中合同あいさつ運動の取組を通して、地域教育の充実と異年齢交流でのつながりを持ち、中学校生活での不安解消へつなげる。 2 校区内小中連携の実施により、不登校及び不登校傾向児童生徒や、課題のある児童生徒への早期の発見、早期対応へつなげる。 3 小中で系統的に人間関係づくりトレーニングを実施することで、対人関係能力の育成を行う。					
取組の具体的内容			取組の創意工夫		
1 校区内小中合同あいさつ運動 児童生徒会が中心となり、校区内の小学校2校に出向き、正門を中心に合同でのあいさつ運動を実施した。 ①あいさつ運動校内ポスター作成 ②全校朝会や校内放送、生徒委員会での周知 ③「あいさつレベル」5段階でカードを渡し、カードをもらった児童生徒を各校内で表彰する。 			※「地域教育と社会性の育成」 「異年齢交流」 「中学校生活への不安解消」 「中1ギャップの解消」 		
2 校区内小中連携 ①毎週金曜日に校区内小学校2校と中学校1校の3校を順番に回り、小学校は5年生、6年生を中心に、中学校は1年生を中心に授業参観を行い、授業参観後協議をもつ。 ②メンバーは、中学校：生徒指導主事、教育相談担当、特別支援コーディネーター、SC、SSW、SSと各小学校は生徒指導主事、町教育委員会で多角的に児童生徒を見て協議し、9年間を見据えて未然の防止と早期の対応へつなげていく。			※「校区内小中連携」 「積極的生徒指導」 「未然の防止」 「早期発見・早期対応」 「日常的な学校支援体制づくり」		
3 対人関係能力の育成 ①人間関係づくりトレーニングを年間5時間実施。 ②全学年同じ時間、一斉に実施する。 ③取組資料は福岡教育大学教授 小泉令三先生の「社会性と情動の学習 SEL8S」を教材に取組を始めて5年目を迎える。 ④暴力行為減少 ⑤不登校の減少 ⑥学習への取組向上			※「対人関係能力の育成」 「社会性と情動の育成」		
取組の成果と課題					
※学校評価アンケート結果より 1 「自ら進んで挨拶をしている」生徒の割合：昨年度 91.6%→今年度 2 学期末 91.7% 2 「不登校生徒数」の割合：昨年度 3.1%→今年度 2 学期末 2.9% 3 「学校が楽しいと感じている」生徒の割合：昨年度 91.3%→今年度 2 学期末 91.6% 「暴力行為」の件数：昨年 7 件→今年度 2 学期末 1 件 「思いが伝えられる人がいる」と感じる生徒の割合：昨年度 95.1%→今年度 2 学期末 92.1%					